

日本食品免疫学会 15周年記念 学術大会 (JAIFI 2019)

「食品免疫学のあゆみとめざすもの」

- 大会長: 上野川 修一 (東京大学名誉教授)
- 日 時: 2019年11月19日 (火) ~ 20日 (水)
- 場 所: タワーホール船堀 (東京都江戸川区船堀4丁目1-1、都営新宿線 船堀駅前)

11月19日 (火)

- 開会の辞
- 一般演題 ショートプレゼンテーション
~ 昼食 ~
- 第15回定例総会
- 一般演題 ポスター討論
- シンポジウム1 「データから読み解く食品免疫学の現在・未来」

「JAIFI データベースから見える食品免疫学の現在・未来」	細野 朗	(日本大学)
「食品の臨床研究における適切な統計解析法」	佐藤 泰憲	(慶應義塾大学)
「バイオインフォマティクスの研究と食品研究への応用可能性」	清水 謙多郎	(東京大学)
「ビッグデータ解析から見えてきた「食・細菌・免疫」のユニークな相互作用と創薬・機能性食品開発への展開」	國澤 純	(医薬基盤・健康・栄養研究所)

- パネルディスカッション「食品免疫学のあゆみとめざすもの」
- 懇親会

11月20日 (水)

- シンポジウム2 「食品免疫学の産業応用」

「メカブフコイダンの感染防御効果」	吉永 恵子	(理研ビタミン(株))
「 <i>Lactobacillus pentosus strain B240</i> のIgA産生増強・感染防御効果」	斎藤 高雄	(大塚製薬(株))
「腸内細菌による宿主代謝調節機構のプロ・プレバイオティクスへの応用」	青木 亮	(江崎グリコ(株))
「大豆由来ペプチド摂取が導く新たな生理機能」	橘 伸彦	(不二製油グループ本社(株))

- ポスター賞授与式 学会賞授賞式・受賞講演
~ 昼食 ~

- 特別講演 「機能性食品開発と食品免疫学—平成の30年を振り返る」
- | | |
|------|-----------------------|
| 清水 誠 | (東京大学名誉教授・東京農業大学客員教授) |
|------|-----------------------|

- シンポジウム3 「腸から拡がる食品免疫学フロンティア」

「栄養シグナルによるパイエル板リンパ球の動態制御」	長谷 耕二	(慶應義塾大学)
「肥満に伴う大腸マクロファージによる炎症と糖尿病」	中江 淳	(国際医療福祉大学)
「腸管組織から移行する免疫細胞を起点とした、腸管による全身の免疫系制御の理解」	戸村 道夫	(大阪大谷大学)
「認知症における脳腸相関と神経炎症の制御について」	久恒 辰博	(東京大学)

- 閉会の辞

- 大会参加費: 会員 一般 3,000円* / 学生 無料 非会員 一般 7,000円* / 学生 1,000円*
懇親会費: 一般 6,000円* / 学生 3,000円* 講演要旨集: 2,000円

* 事前登録時の金額、当日参加登録の場合は1000円割増 事前登録を推奨いたします

JAIFI2019 大会ホームページ
<http://www.jafi.jp/conf/jafi2019/>



主催:  日本食品免疫学会